

ふみびと

第375号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

無意識に残る かつての記憶

大丈夫

ようやくたどたどしくも言葉が話すようになってきた親戚の子ども。

まだ覚えた言葉も多くはないので、同じようなことばかりを口にするのですが、気になったのはある一つの単語。

「だいじょうぶ」

特別教えたつもりはないのですが、事あるごとに出てくるその言葉。

ある時は泣いている自分を自分で励ますように、またある時は両親に叱られている時に自分に言い

聞かせるように。

どういう場面で使うべき言葉なのかを、その子の両親が教えたわけでもないのに、なぜかその言葉を使う場面というのもしっかりくるのが面白いものです。

転んでしまったり泣いている時などに「大丈夫、大丈夫」と声をかけてあげることが多いそうなので、もしかしたらその子にとっては意味はわからなくても安心できる言葉なのかもしれません。



言葉というのは不思議なもので、言葉の意味がわからなくても何となく元気になれたり、穏やかな気持ちになれたりするものがあるような気がします。

「大丈夫？」と時には心配してくれる言葉であり「大丈夫！」と時には励ましてくれる言葉。

子どもの頃から幾度となくかけられた愛情の込められたその言葉が、特

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪誰に届くかは風船便の手紙を切って取って「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書きだす。事務信同の返封筒に宛封下流で局用封下交り



次回発送日

次回発送日は9月1日の予定です。8月の山の日や秋の祝日の影響を鑑み調整しておりますのでどうぞご了承下さい。送りたいお手紙がある場合は3日前までに事務局に到着することを近隣の郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。

感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂き、方法は事務局宛でのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報伏せた上でご紹介させて頂きます。

暦の上ではもう夏を越えたといっても、昼間の陽射しはまだ強く、蝉の声も鳴り響いている。それでも夕方になると、空気がふつとやわらぎ、西に傾く太陽は空の色を少しずつ変えていく。遠く

マジックアワー

広がっていく。そんな景色に包まれていると、理由もなく懐かしさが胸の奥に広がり、子どもの頃の夏

の終わりをふいに思い出す。この時間だけは確かに別の季節が姿を現し、あの頃の自分へと静かに戻されていく。駆け回った土の匂い、わくわくした夏祭り、プールからの帰り道。そのすべてが今ここに重なり、この時間だけは、時間がタイムスリップしているように思えるのである。

